

## 野洲川河口部

### ●具体的な整備内容

横断方向の河川形状の修復方法等について、検討、実施する。

野洲川 河口部

### ●事業費

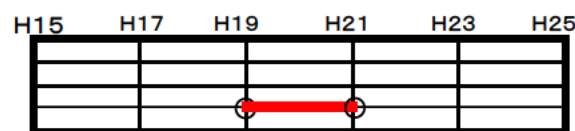
|             |      |
|-------------|------|
| ・全体事業費      | 約4億円 |
| ・うち執行済      | 0円   |
| ・うち整備計画期間内  | 約4億円 |
| ・うち整備計画期間以降 | 0円   |

### ●事業の数量・諸元等

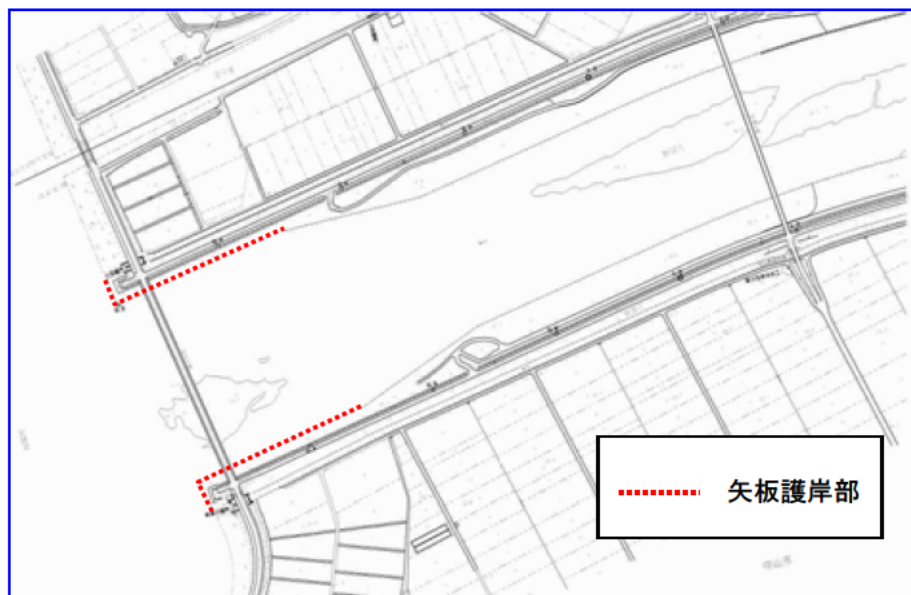
河口部横断形状修復 L=400m

### ●実施スケジュール

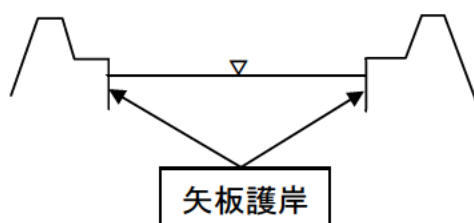
— 実施



### ●平面図



### ●横断図



**●整備効果**

横断方向の連続性を確保し、水陸移行帯を設けることにより、良好な生物の生息・生育環境が修復できる。

**●提案理由**

当該地は放水路区間であり、現在、矢板護岸形状となっている。横断方向の連続性が分断された状態となっていることから、生物が生息・生育できる環境とはなっていない。このため、横断方向の連続性の確保のため、横断形状の検討を実施し、生物の生息・生育環境の保全・再生を図る。

**●委員会等からの意見**

「整備計画進捗状況報告」においては、「事前モニタリング実施中」「河川水辺の国勢調査（鳥類）の実施」とあるだけである。検討の方法、得られた結果を明示し、それをもとにどのように修復方法を検討し実施するのかについて、直ちに内容を明示されたい。

また、直轄でない河川についても、その河川形状の修復については、全体として十分な検討をしなければならないことは、「基礎原案に係る具体的な整備内容シートについての意見書」において指摘した。しかしこの点は、「基礎案に係る具体的な整備内容シート」に記載されておらず、さらに今回の「進捗状況報告書」でも扱われていないことは、極めて遺憾である。直ちに「検討」に入られたい。

そのとき、「川が川をつくる」の理念に示されているように、河川の縦・横断形状は、平面形状と流水と流砂との相互作用によって形成されることを深く理解した上で、修復方法を検討すべきである。〔琵琶湖部会〕

### ●進捗状況

河川水辺の国勢調査(鳥類)を実施。

野洲川河口部において河川横断形状修復のために必要な現況調査(植生、生物、既設構造物)を実施。

また、第6回水陸移行帯ワーキンググループ(H17.10.18)において、野洲川河口部の河川横断形状修復の基本方針を水制工と養浜の併用案とする内容で提案。

第6回WG <http://www.biwakokasen.go.jp/others/specialistconference/wg/index6.html>

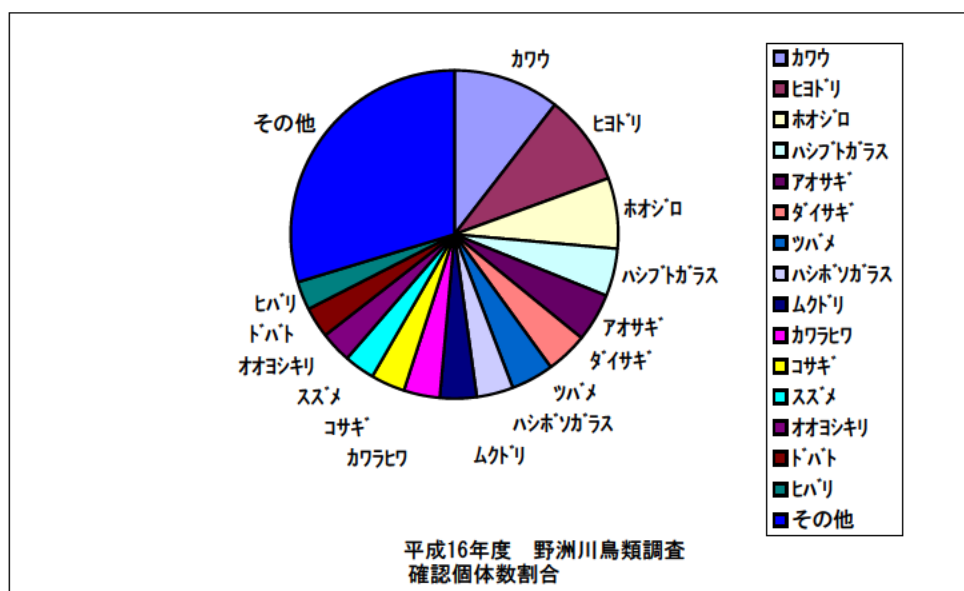
### ●今後の見通し

継続した水辺の国勢調査を実施。

ワーキングで意見のあった、この事業への地域住民の理解促進及び参加ができる環境作りを検討。

### ●進捗状況(写真・図面)

#### 河川水辺の国勢調査(鳥類) 結果



#### 河口部横断形状の修復検討(水制工)

## ●進捗状況(写真・図面)

## 河口部横断形状の修復検討(水制工)

